

日本ジオパーク再審査の結果～条件付き再認定の「条件」～



ジオパーク活動の目的とは

ジオパーク活動の目的は私たちが暮らすまちを守り、地域の宝をそのまま子どもたちや孫に引き継いでいくことです。この目的を果たすために、島原半島地域では保全、教育、学術研究、観光事業など、さまざまなジオパーク活動を展開してきました。

しかし、昨年12月に行われた日本ジオパーク委員会で、島原半島地域は「条件付き再認定」となりました。



条件付き再認定の「条件」とは

「条件付き再認定」となった地域は、2年間で指摘された事項に対応できなければ、日本ジオパークの認定がはく奪されるのですが、その「条件」とは何なのでしょうか。

ジオパークに認定された地域は、無理のない持続可能な運営体制で、地域の宝を守る活動を続けていくことが求められます。しかし、今回の審査では、「島原半島ジオパークの運営体



日本ジオパーク現地審査の講評会の様子

制は持続可能ではない」と判断されました。これまでの運営体制を見直し、持続可能な体制にあらためること。これが条件の一つです。

しかし、いくら優れた運営体制があっても、そこに関わる人が思いを一つにし、目的の実現に向けて活動しなければ、どんな活動もうまくいかないこととなります。地域の住民、行政、研究者など、ジオパーク活動に関わりのある人たちが、共に考え続けながらふるさとを守り、そこにある宝を守る活動に主体的に参加すること。これがもう一つの条件です。



守るべき「地域の宝」とは

では、守るべき「地域の宝」とは、一体何でしょうか。それは、世界に一つしかない「雲仙」という火山がつくられたプロセスはもちろん、雲仙火山があることによつて育まれた、私たちの歴史、文化、伝統、そして生活です。

「ジオパークは岩石、地層、噴火災害を学ぶこと」というイメージから一度離れて、ふるさとをさまざまな視点から見つめ直してみませんか。私たちが守り、未来に引き継いでいくべき「宝」が、何気なく見ている景色の中に隠れています。



第10回島原半島ユネスコ世界ジオパークセミナー

島原半島の歴史・文化・自然、そしてそれらを支えるジオの魅力を毎月やさしく紹介します。

- ▶と き 3月18日(土) 13時～15時
- ▶ところ 雲仙岳災害記念館 島原半島世界ジオパーク情報スペース
- ▶参加料 200円(お菓子とコーヒー付き)
- ▶講師 柚洞 一央氏(徳山大学経済学部准教授)
- ▶題目 「新たな出会いが地域を楽しくする?!～ジオパークは難しい火山の話だけじゃない～」
- ▶問い合わせ先 島原半島ジオパーク協議会(☎65-5540)

